

# 盛岡市遺跡の学び館

## 令和3年度 館報



国史跡 盛岡城跡 第37次発掘調査

盛岡市遺跡の学び館

## はじめに

盛岡市は、南部氏盛岡藩の城下町として、また、近代以降は岩手県の県都として発展してきました。秀峰岩手山や姫神山を望み、絶え間なく流れ続ける北上川には、東西の山地から丹藤川や松川、雫石川、中津川が合流し、その恵みを楽しむとともに四季折々の表情豊かな自然の中で、歴史と文化を脈々と伝え受け継ぎ、人々が暮らし続けてきた「杜と水の都」です。

当館は、盛岡市子ども科学館や盛岡市先人記念館などの社会教育・文化施設が集まる中央公園の一角に位置し、埋蔵文化財センターとしての機能と、博物館としての機能を併せ持つ盛岡市教育委員会の所管施設です。

令和3年度の発掘調査事業では、前年度に引き続き行われた史跡盛岡城跡の整備に伴う発掘調査のほか、公共工事や民間開発事業等に伴う発掘調査を行っており、調査成果は、今後報告書として刊行する予定ですが、本書は、その速報として概要をまとめたものです。

学芸事業においては、企画展「遺跡の名探偵－考古学者はここを見る！－」を開催し、小学生でも理解できる考古学として、探偵が謎を解くスタイルを用い歴史を紐解く手法で調査や記録の取り方など、遺跡の発掘調査について解説しました。

テーマ展「ある時代の台所」では、土器の使用による縄文人の食生活の変化について、「台所」を視点として時代ごとに資料を紹介し、「ナベ」とともに変化していった日本人の暮らしについて解説しました。

ただ、令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため、臨時休館やテーマ展の期間短縮を余儀なくされたこと等もあり、市民の皆様のニーズに十分に答えきれなかったことは否めませんでした。

依然コロナ禍中ではありますが、創意工夫による企画の充実を図ってまいりますので、今後とも、より一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

盛岡市遺跡の学び館

館長 割船 活彦

# 例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の令和3年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 III-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、令和3年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたものである。その多くは現在資料整理中であり、正報告書は別途刊行予定である。
- 4 III-4の「志波城跡 第113次調査」の遺跡平面位置は、平面直角座標X系（日本測地系）を座標変換した調査座標で表示した。  
志波城跡 調査座標原点  $RX \pm 0 \leftarrow X - 35,000,000$   
 $RY \pm 0 \leftarrow Y + 23,700,000$
- 5 本書に使用した地図は、国土地理院発行2万5千分の1地形図「矢幅」「盛岡」「小岩井農場」「鷹高」「外山」「洪民」及び盛岡市都市計画整備図を使用した。
- 6 発掘調査に伴う記録類や出土遺物等は、当館で保管している。

# 目 次

はじめに

例言・目次	1
I 施設概要	
1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業	2
2 事業経過	2
3 建設事業費等	2
4 施設概要	2
II 職員体制	3
III 事業概要	
1 管理運営	4
2 学芸事業	5
3 埋蔵文化財発掘調査	13
4 志波城跡 第113次調査	22
5 神田塚遺跡	27
報告書抄録	

# I 施設概要

## 1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団(当時))を開始し、総合計画との関連および予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

## 2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事 展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定 施設の名称を「盛岡市遺跡の学び館」とする
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
令和4年3月末	開館以来の施設総利用者数200,010人

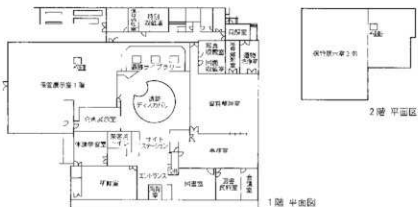
## 3 建設事業費等

・建設事業費 677,755千円(国庫補助210,000千円・県補助105,000千円)

総事業費	677,755 千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,675	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	9,219	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

## 4 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館			設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1			開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート、一部鉄骨造平屋(一部重層)				
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積	2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室				
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等				
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡) 写真収蔵室(27.2㎡)、図面収蔵室(27.2㎡)				
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)				
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)				

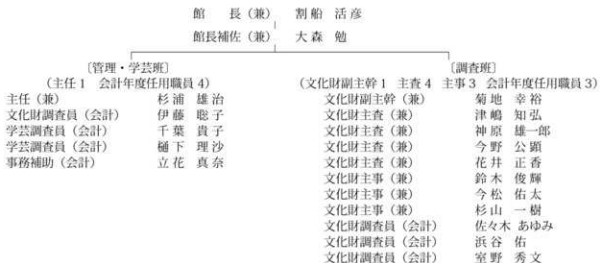


館内平面図及び外観・展示室写真

【収蔵資料】(令和3年度末現在)

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	R3 年度発掘調査分	・史跡盛岡城跡・西鹿渡遺跡・細谷地遺跡・下永林遺跡 ほか	小コンテナ 73 箱
	完形品等 (展示資料含む)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約 5,400 点
	破片等コンテナ収納資料	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片、自然遺物含む) ※コンテナ 503 × 700 × 397mm、小コンテナ 387 × 586 × 142mm	大 368 箱 小 16,068 箱
	寄贈寄託 個人コレクション	・武田良夫氏・古澤典夫氏ほか寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	8,521 点 2 点
標本等	模型・レプリカ	模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面(原図・第2原図・遺物実測図等)	約 4,400 枚
	写真	・写真(モノクロ・カラーネガ:35mm、6 × 7、4 × 5) ・カラースライド(35mm、6 × 7) ・デジタル画像(700MB:CD・DVD)	約 130,000 コマ 約 44,000 コマ 約 440 枚

## Ⅱ 職員体制



### Ⅲ 事業概要

#### 1 管理運営

##### 【盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会】

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用と遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の企画運営についての指導もいただいている。

令和3年度については、令和3年5月21日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症状況等に鑑み、会議は開催せずに、書面にて開催することとした。

- 【議 事】報告・令和2年度遺跡の学び館事業報告について  
審議・令和3年度遺跡の学び館事業計画（案）について

##### 【年間事業費】（令和3年度決算額）

事業名	事業費（決算額）	事業内容
管理運営事業	15,365,337円	・臨時職員賃金、施設設備の維持管理経費等
学芸事業	3,875,658円 (うち国補助1,557,000円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、収蔵資料データシステム等
盛岡遺跡群発掘調査事業	4,184,579円 (うち国補助2,009,000円、 県補助223,000円)	・個人住宅建築に係る事前の発掘調査及び資料整理
埋蔵文化財調査事業	1,492,625円	・公共事業に伴う発掘調査、各種開発に係る試掘確認調査
埋蔵文化財発掘調査受託事業	10,006,367円	・民間事業者開発に伴う発掘調査
計	34,924,566円	

##### 【入館者統計】 開館以降の入館者等利用状況（平成16年6月～令和4年3月）

（単位：人）

	有料入館者						減免利用者			展示室 利用者数	展示室以 外の利用 者数	総計	
	個人			団体			計	一般	小・中				
	一般	小・中	小計	一般	小・中	小計							
H16	2,837	923	3,760	792	422	1,214	4,974	5,316	610	5,926	10,900	1,896	12,796
H17	2,298	1,475	3,773	582	372	954	4,727	2,064	597	2,661	7,388	2,800	10,188
H18	2,024	1,557	3,581	259	798	1,057	4,638	1,575	1,098	2,673	7,311	5,244	12,555
H19	1,932	1,710	3,642	413	851	1,264	4,906	1,660	1,102	2,762	7,668	5,290	12,958
H20	2,157	2,218	4,375	473	804	1,277	5,652	1,859	982	2,841	8,493	6,263	14,756
H21	2,144	2,158	4,302	375	525	900	5,202	1,284	568	1,852	7,054	5,450	12,504
H22	2,012	1,594	3,606	228	268	496	4,102	1,114	411	1,525	5,627	3,624	9,251
H23	1,753	1,644	3,397	709	1,874	2,583	5,980	1,007	690	1,697	7,677	5,156	12,833
H24	2,347	1,471	3,818	427	1,218	1,645	5,463	2,031	610	2,641	8,104	4,959	13,063
H25	1,942	1,640	3,582	630	340	970	4,552	1,641	521	2,162	6,714	3,877	10,591
H26	2,109	1,513	3,622	328	273	601	4,223	1,691	972	2,663	6,886	4,537	11,423
H27	2,305	1,294	3,599	409	224	633	4,232	1,645	545	2,190	6,422	3,641	10,063
H28	2,204	1,129	3,333	527	198	725	4,058	1,755	394	2,149	6,207	4,184	10,391
H29	2,187	863	3,050	633	322	955	4,005	1,842	682	2,524	6,529	5,103	11,632
H30	2,151	831	2,982	786	214	1,000	3,982	1,463	670	2,133	6,115	4,869	10,984
R1	2,822	1,069	3,891	740	351	1,091	4,982	1,949	953	2,902	7,884	4,258	12,142
R2	1,240	619	1,859	352	987	1,339	3,198	1,080	680	1,760	4,958	1,336	6,294
R3	1,289	454	1,743	295	625	920	2,663	951	506	1,457	4,120	1,466	5,586
計	37,753	24,162	61,915	8,958	10,666	19,614	81,539	31,927	12,591	44,518	126,057	73,953	200,010

## 2 学芸事業

当館主催の学芸事業として、企画展示室において企画展、テーマ展、令和3年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会を年間を通じて全5回開催し、また、ゴールデンウィーク、夏休み・冬休み期間中には個人を対象とした体験学習会などを開催した。また、発掘調査現地での説明会の実施、普及資料の発行、出前講座等の事業を実施した。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月24日から9月19日まで臨時休館した。テーマ展は開催期間を短縮し、特別講演会は中止した。また、体験学習会は内容及び定員を変更して実施した。博物館実習等の研修・実習の受け入れは行ったものの、内容の一部を変更し、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会等の各種会議は、書面開催に変更して行われた。

### (1) 展示公開・普及活動

#### 【展示会】

タイトル等	テーマ展「ある時代の台所」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和3年6月5日(土)～令和3年8月22日(日)	来場者数	1,466名
展示構成	(縄文時代の台所) ナベと台所の出現、ナベとしての土器、食料獲得と貯蔵、木の実と調理用加工具(弥生～古墳時代の台所) 稲作の広がりや寒冷期の影響 [奈良～平安時代の台所] カマドの構造、カマド納め、古代のナベ、農業と漁業 [中世～現代の台所] 鉄製ナベの登場から現代のIH炊飯器	展示資料数	166点
概要	土器の出現は人々の暮らしに大きな影響を与えた。縄文から現代の炊飯器に至るまで、時代ごとの台所と食に関係する資料を紹介し、「ナベ」とともに変化した日本人の暮らしについて解説した。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示資料一覧		
タイトル等	第19回企画展「遺跡の名探偵 —考古学者はここを見る!—」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和3年10月2日(土)～令和4年1月23日(日)	来場者数	1,556名
展示構成	(概要) 日本の考古学と成り立ち [土の観察] 遺跡の特定、調査方法、遺構の検出及び記録の方法 [土器の観察] 出土状況、分類の方法、編年方法、実測図の取り方 [発掘後] 収蔵及び保管、展示・活用方法、保存処理の仕方、報告書の在り方 [考古学者になるには] 考古学の学び方、関連分野	展示資料数	89点
概要	探偵が事件を解明することになぞらえ、考古学者が遺跡の発掘調査で何を見て歴史を紐解いているのか、調査の方法や遺物の見方、記録の取り方など、遺跡の発掘調査全体について解説した。		
作成資料	展示図録・ポスター・チラシ・展示資料一覧		
タイトル等	第39回埋蔵文化財調査資料展 「盛岡を発掘する—令和3年度調査速報—」	会場	当館企画展示室
開催期間	令和4年2月5日(土)～令和4年5月22日(日)	来場者数	1,266名
展示遺跡概要	盛岡城跡、新茶屋遺跡、小塚塚遺跡、百目木遺跡、下永林遺跡、里館遺跡、二又遺跡、盛岡城速曲輪跡	展示資料数	132点
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展 ある時代の台所



企画展 遺跡の名探偵



第39回埋蔵文化財調査資料展

### 【講演会】（企画展関連事業）

8月22日（日）に開催を予定していた特別講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

### 【学芸講座】

開催日	タイトル・講師	聴講者
令和3年7月25日（日） 13：30～15：00	学芸講座Ⅰ「いにしへの塩づくりー縄文時代の土器製塩ー」 当館 花井 正香 文化財主査	20名
令和3年10月17日（日） 13：30～15：00	学芸講座Ⅱ「遺跡調査からわかること①」 当館 今野 公顕 文化財主査	26名
令和3年11月21日（日） 13：30～15：00	学芸講座Ⅲ「遺跡調査からわかること②」 当館 津嶋 知弘 文化財主査	25名



学芸講座Ⅰ「いにしへの塩づくり」



学芸講座Ⅲ「遺跡調査からわかること」

### 【ミニ展示】

サイトステーション内にミニ展示コーナー「みつけギャラリー」を設け、3～4ヶ月ごとにテーマを決めて展示した。令和3年度は、縄文時代の交流、ミニチュア土器、石器をテーマとした展示を行った。

### (2) 参加型体験活動

#### 【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
令和3年6月19日（土） ・6月20日（日） 9：30～12：00	「縄文土器をつくろう」（2回） 対応：当館職員・サポーターズクラブ	11名
令和3年10月30日（土） 10：00～11：30	「もりおか史跡・遺跡めぐり」 対応：当館職員	20名
令和3年12月5日（日） 9：30～12：00	「つるを編んでみよう」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	6名
令和3年12月26日（日） 10：00～12：00	「考古学者になってみよう」 対応：当館職員・サポーターズクラブ	13名
令和4年2月19日（土） ・2月20日（日） 9：30～12：00	「カゴ作り教室」（2回） 対応：当館職員・サポーターズクラブ	10名





もりおか史跡・遺跡めぐり



縄文土器をつくろう



カゴ作り教室

### 【古代体験ひろば】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク！ 古代体験ひろば	令和3年4月29日(木) ～5月5日(水) 7日間	午前の部 10:00～11:00 午後の部 13:30～14:30 午前・午後 各先着5組 メニュー：古代風ストラップ・ 古代のお守りネックレス・板 状土偶マグネット	計49名
夏休み！ 古代体験ひろば	令和3年8月1日(日) ～8月9日(月) 9日間		計51名
冬休み！ 古代体験ひろば	令和4年1月4日(火) ～1月10日(月) 7日間		計31名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、メニューの一部を変更したほか、参加人数を各回先着5組に限定した。



GW！古代体験ひろば



夏休み！古代体験ひろば



冬休み！古代体験ひろば

### 【縄文ふれあい DAY】

盛岡市内の小・中学校に通学している児童・生徒5名以上の場合に入館料が減額になる毎月第2土曜日を「縄文ふれあい DAY」とし、古代風ストラップ・拓本とり・古代のお守りネックレス作りなどの体験学習を実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部開催を中止した。

### (3) ボランティア活動や地域連携活動

#### 【盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク】

「盛岡ゆいとびあミュージアムネットワーク」（略称もりとびあねっと）は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設（岩手県立美術館・原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園）で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間及

び地元本宮地域協働協議会「ゆいネット盛南」等との連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人（人物）などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図った。令和2年度は、合同情報紙「もりとびあねっとだより」を作成・配布した。

例年実施していた「スタンプラリー」「志波城まつり」等のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

#### 【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して16年目を迎えた。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規会員の募集は取りやめ、現有の会員数18名での活動となった。当館行事の夏・冬の「古代体験ひろば」（個人の体験学習）や「カゴ作り教室」等の体験教室、修学旅行等の学校行事利用の体験学習等に、精力的に参加され、支援していただいた。

なお、自主活動として例年実施している研修旅行は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

#### (4) 研修・実習活動

##### 【研修・実習受入】

開催日	内 容	依頼団体	参加者
令和3年8月25日(水) ～8月31日(火) 6日間	博物館実習	駒澤大学1名、岩手大学大学院1名、 山形県立米沢女子短期大学1名、立 正大学1名	計4名



博物館実習



#### (5) 出前講座・講師派遣活動

##### 【出前講座】

開催日	内 容	講 師	依頼団体（会場）	参加者
令和3年10月13日(水) 10月15日(金)	大館町遺跡見学学習	伊藤 聡子 文化財調査員 樋下 理沙 学芸調査員 千葉 貴子 学芸調査員	大新小学校	83名

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
令和3年10月7日(金)	もりおかの遺跡 「ある時代の台所」	花井 正香 文化財主査	中央公民館	12名
令和3年10月22日(金)	学びの循環推進事業 「もりおかの遺跡(栗石川北 岸地区)」	神原 雄一郎 文化財主査	盛岡ゆうゆう大学み たけ校(みたけ老人 福祉センター)	16名
令和3年11月19日(金)	学びの循環推進事業 「もりおかの遺跡(栗石川北 岸地区)」	津嶋 知弘 文化財主査	盛岡市自治公民館連 絡協議会西部地区連 絡協議会(西部公民 館)	15名
令和3年11月27日(土)	縄文講座 「縄文時代の生活文化(交易 や食生活)」	神原 雄一郎 文化財主査	西部公民館	56名
令和3年12月11日(土)	縄文講座 「盛岡地区の縄文遺跡(大館 町遺跡再考)」	今松 佑太 文化財主事	西部公民館	56名

#### 【講師派遣】

開催日	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
令和3年10月16日(土)	考古学セミナー講演会・見 学会 「遺跡から見た盛岡の弥生～ 古墳時代」	津嶋 知弘 文化財主査	岩手県立博物館	15名

#### (6) 職員研修活動

##### 【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催(会場)
令和3年4月21日(水)	令和3年度文化財保護行政 基礎研修会	今松 佑太 文化財主事 杉山 一樹 文化財主事	岩手県教育委員会 一般社団法人岩手県文化財愛護協 会(岩手県立博物館)
令和3年12月3日(金)	令和3年度埋蔵文化財発掘 調査技術講習会	今松 佑太 文化財主事 杉山 一樹 文化財主事 浜谷 佑 文化財調査員	岩手県立埋蔵文化財センター (岩手県立博物館)
令和4年1月27日(木) ～1月28日(金)	令和3年度文化財等取扱講 習会	浜谷 佑 文化財調査員	岩手県立博物館 公益財団法人岩手県文化振興事業 団 岩手県博物館等連絡協議会 (岩手県立博物館)

##### 【関連会議等出席】

当館が加盟し、例年開催している「全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会」「全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 北海道・東北ブロック会議」「岩手県博物館等連絡協議会総会・研修会」は、新型

コロナウイルス感染拡大防止のため、会議は中止となり、書面にて開催された。

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会・公開と調査成果報告会】

開催日時	遺跡名(所在地)	見学者・参加者
令和3年8月18日(水) 13:30～14:30	百目木遺跡第42次発掘調査現地説明会(地元町内会向け)	10名
令和3年12月4日(土) 10:00～15:00	史跡盛岡城跡第37次・第43次発掘調査現地説明会	231名
令和4年3月6日(日) 13:30～15:30	令和3年度調査成果報告会(新茶屋遺跡、小屋塚遺跡、下永林遺跡、二又遺跡、盛岡城遺曲輪跡、史跡盛岡城跡)	20名



盛岡城跡第37次・第43次調査 現地説明会



令和3年度調査成果報告会

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
『山王山遺跡－共同住宅新築工事に伴う緊急発掘調査報告書－』	令和3年4月30日	150部	公的機関に 配布
『稲荷町遺跡－第37次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書』	令和3年6月30日	150部	
『大島遺跡 第1～4次発掘調査概要報告書－盛岡中央卸売市場(新市場) 整備関連発掘調査－』	令和3年8月31日	150部	
『荒屋遺跡－第5次調査 宅地造成に伴う発掘調査報告書－』	令和3年10月15日	150部	
『盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅳ－道明地区土地区画整理事業関連遺跡 令和2年度発掘調査－ 細谷地遺跡』	令和3年12月15日	300部	
『盛岡市内遺跡群－令和元年度発掘調査報告書－ 大新町遺跡第85次、西鹿渡遺跡第37次、二又遺跡第15次、安信館遺跡第94次』	令和4年1月31日	300部	

件名	発行日	部数	販売の有無
『新茶屋遺跡―宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―』	令和4年3月31日	150部	公的機関に配布

### 【学芸関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売価格等
【展示図録】 遺跡の学び館第19回企画展 「遺跡の名探偵―考古学者はここを見る!―」	令和3年10月2日	400部	1,000円
『盛岡市遺跡の学び館 令和2年度館報』	令和4年3月25日	350部	公的機関に配布
『盛岡市遺跡の学び館 令和3年度特報』	令和4年3月30日	500部	無料配布



盛岡地区遺跡群 発掘調査報告書



大島遺跡 発掘調査報告書



第19回企画展 展示図録

## (9) 図書整備活動

## 【寄贈図書及び購入図書】

形態	分野	内 容	寄贈・購入冊数		計
			令和2年度末	令和3年度増加分	
発掘調査報告書			20,752	505	21,257
一 般 図 書	考 古 学	概説書など	307	12	319
	歴 史 学	日本史・郷土史など	191	10	201
	民 俗 学	民具・民俗芸能など	22	0	22
	美 術 工 芸	絵画・彫刻・建造物など	37	1	38
	自 然 科 学	動植物など	6	0	6
	文化財保護	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	54	0	54
	博 物 館 学	博物館概論・開館記念誌など	3	0	3
	そ の 他	辞典・事典など	59	1	60
資 料 集	図録・解説書・パンフレット・レジュメなど	2,590	173	2,763	
全 集	3冊以上	479	1	480	
論 集	論文集など	66	1	67	
通 史	市町村史	290	3	293	
逐次刊行物	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	5,437	185	5,622	
計		30,293	892	31,185	

全国各地の公立及び公益法人の埋蔵文化財センター及び博物館施設等と遺跡発掘調査報告書や遺跡関係書籍及び展示図録・歴史関連書籍や論文、一般刊行物、各種パンフレットなどを主体に図書の交換を行い、保管収集に努めている。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に收藏のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

### 3 埋蔵文化財発掘調査

令和3年度は、本発掘調査11件、試掘調査19件、合計30件の調査を行った。前年度より、総件数は減少したが、本調査件数はほぼ横ばいに推移している。原因別の内訳は、史跡保存整備事業に伴う事前調査が3件、大規模区画整理事業に係る本調査1件・試掘調査1件、個人専用住宅建築等に係る本調査3件・試掘調査9件、宅地造成に係る本調査2件・試掘調査2件、会社事務所建築等その他開発に係る本調査2件・試掘調査7件である。総面積は8,916㎡で、前年度比73.3%となっている。

調査地の地域的分布は、旧市街地区が8地点、太田・向中野地区が5地点、飯岡地区が9地点、厨川地区が3地点、上田地区が3地点、中津川地区が2地点となっている。

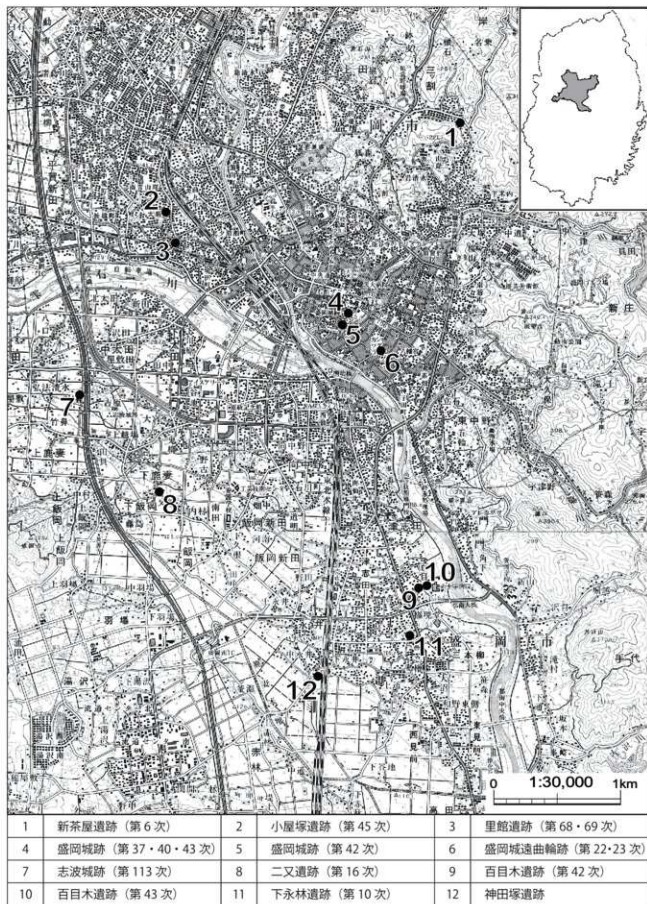
本報告では、遺構及び遺物が検出された調査を主体に記述し、その他については一覧表での記載のみに留めた。なお、次節の「志波城跡 第113次調査」及び「神田塚遺跡」は本稿を以って本報告とする。

【令和3年度埋蔵文化財発掘調査（本調査・試掘調査）一覧】

区分	No	遺跡名	回数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本 調 査	1	盛岡城跡	37 補	内丸57-1地内 (三ノ丸地区)	三ノ丸石垣修 復工事	8月17日～ 11月17日	137	近世の控柱跡、宝永以降の石垣 近世の瓦、陶磁器類、鉄滓、古 銭、動物遺存体
	2	盛岡城跡	40 補・ 43	内丸57-1地内 (本丸地区)	史跡保存整備 の事前調査	11月18日～ 12月9日	245	近世の石垣天端石、石土居根石 2ヶ所、明治期の石土居天端石、 明治期以降の四阿基礎 近世の瓦、陶磁器類、古銭 コンテナ約8箱
	3	小屋塚遺跡	45	大新町10-8	個人住宅建築	4月19日～ 5月31日	65	縄文時代の竪穴建物跡3棟、 フラスコ形土坑・粘土採掘坑 10基 縄文土器、石器 コンテナ約5箱
	4	下永林遺跡	10	津志田14地割1 -1外	都南中央第三 地区土地区画 整理事業	4月22日～ 12月21日	3,607	縄文時代の土坑3基、奈良・ 平安時代の円形周溝7基、古 代以降の溝跡13条、柱列8基、 近世以降の旧塚跡 縄文土器、奈良・平安時代の土 器、炭化物、近世の古銭、陶磁 器、木製品、近世以降の土製品 (竈道具) コンテナ約7箱
	5	里館遺跡	68	天昌寺町423-6	個人住宅建築	5月13日～ 6月9日	105	中世～戦国期の堀跡1条 昭和期の陶磁器、ガラス片 コンテナ約1箱
	6	新茶屋遺跡	6	山岸六丁目46-1、 46-10、60-1	宅地造成	6月1日～ 8月31日	2,019	縄文時代の竪穴建物跡1棟、 配石遺構1基、土坑4基、焼 土遺構1基 縄文土器、石器 コンテナ約10箱
	7	盛岡城遠曲輪跡	22 ・ 23	南大通二丁目26、 379-1、378-4	会社事務所・ 寺院建築	6月15日～ 8月3日	190	平安時代の竪穴建物跡1棟、 近世の堀跡、土塁石垣 平安時代の土器、土製品、石製 品、鉄製品、近世の陶磁器、古 銭、鉄製品 コンテナ約5箱

区分	No	遺跡名	次数	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な検出遺構・出土遺物
本調査	8	百目木遺跡	42	三本柳第5地割 14-1 外	宅地造成	6月23日～ 8月24日	1,502	奈良・平安時代の竪穴建物跡3 棟、竪穴状遺構1基、古代以 降の土坑3基、溝跡1条 奈良・平安時代の土器、墨書土 器 コンテナ約4箱
	9	二又遺跡	16	下飯岡第1地割 56-14の一部	個人住宅建築	10月18日～ 12月6日	201	平安時代の竪穴建物跡4棟、 平安時代以降の土坑1基、遺 物包含層1ヶ所 平安時代の土器、鉄製品、石製 品 コンテナ約10箱
試掘調査	10	二又遺跡	16	下飯岡第1地割 56-14の一部	個人住宅建築	4月15日	52	平安時代の竪穴建物跡2棟 平安時代の土器片 (R3年度本調査)
	11	伊志田遺跡	2	東見前第6地割 18-1 外	宅地造成	4月21日	12	遺構なし 平安時代の土器片
	12	西黒石野遺跡	16	黒石野二丁目28- 1	共同住宅建築	4月22日	38	遺構・遺物なし
	13	百目木遺跡	41	三本柳第4地割 16-1	保育園増築	4月27日	8	遺構・遺物なし
	14	盛岡城遠曲輪跡	22 ・ 23	南大通二丁目2-6 外	会社事務所・ 寺院建築	4月28日・ 6月8日	78	近世の堀跡、土塁跡、土塁石積 近世の陶磁器片 (R3年度本調査)
	15	見前館遺跡	6	西見前第8地割 4-1の一部	個人住宅建築	5月27日	28	遺構・遺物なし
	16	細谷地遺跡	42	向中野字細谷地 24-8	道明地区土地 区画整理事業	6月10日	15	遺構・遺物なし
	17	盛岡城跡	42	内丸354-1、355- 5	教会建築	6月23日	102	近世以降の堀跡 近世以降の陶磁器 (工法変更による現状保存)
	18	落合遺跡	19	下米内一丁目47- 5 外	宅地造成	7月6日	97	遺構・遺物なし
	19	屠牛場遺跡	5	山岸三丁目18-1	個人住宅建築	7月20日	33	遺構なし 縄文土器片
	20	百目木遺跡	43	三本柳第5地割 40-18 外	個人住宅建築	10月6日	20	平安時代の竪穴建物跡1棟 奈良・平安時代の土器 (盛土による現状保存)
	21	里館遺跡	69	天昌寺町423-1	個人住宅建築	11月18日	17	中世～戦国期の堀跡1条 近世以降の陶磁器片
	22	台太郎遺跡	94	向中野二丁目146- 9	共同住宅建築	12月9日	53	遺構・遺物なし
	23	志波城跡	113	中太田小沼地内 外	水道管敷設工 事	1月11日～ 3月4日	165	平安時代の築地塙基礎地業跡 平安時代の土器、人骨
	24	志波城跡	114	下太田林崎22	個人住宅建築	3月25日	21	遺構・遺物なし
25	林崎遺跡	26	下太田林崎22	個人住宅建築	3月25日	28	遺構・遺物なし	
26	西鹿波遺跡	41	三本柳第2地割 37-10	個人住宅建築	3月28日	50	遺構・遺物なし	
27	黒石野平遺跡	11	緑ヶ丘三丁目114- 18 外	個人住宅建築	3月29日	28	遺構なし 時期不詳の陶磁器片	
総面積							8,916	





令和3年度調査遺跡 位置図

## ○史跡整備に伴う事前調査

### (1) 国指定史跡 盛岡城跡 第37次補足・40次補足・43次調査

- |        |   |        |                  |
|--------|---|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市内丸57-1地内   | 2 調査原因 | 石垣修復・史跡整備に伴う事前調査 |
| 3 調査方法 | トレンチによる内容確認調査   | 4 調査期間 | 令和3年8月17日～12月9日  |
| 5 調査面積 | 第37次補足 137㎡、第40次補足 176㎡、第43次 69㎡  |        |                  |
| 6 調査員  | 菊地 幸裕・今松 佑太・浜谷 佑  |        |                  |
| 7 検出遺構 | 第37次補足 <天端>江戸時代の塙控柱跡<br>第40次補足 江戸期石垣天端石、明治期石土居天端石、明治期以降の四阿基礎<br>第43次 江戸期石土居根石（2ヶ所）  |        |                  |
| 8 出土遺物 | 第37次補足 江戸時代の軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、陶磁器、鉄製品（釘等）、鉄滓、古銭、動物遺存体 コンテナ約14箱<br>第40次補足 江戸期の丸瓦、平瓦 コンテナ約1箱<br>第43次 江戸期の軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、陶磁器、古銭 コンテナ約7箱 |        |                  |
| 9 調査概要 | 史跡盛岡城跡は、市街地中心部の内丸に所在する盛岡藩南部氏の居城跡である。  |        |                  |

当市では、「史跡盛岡城跡整備基本計画」に基づき、石垣の解体修理をはじめとする保存整備計画を計画し、これに係る事前調査を平成25年度から実施している。第37次補足調査は三ノ丸北西部北面石垣解体工事に伴う調査を、第40次補足調査は本丸三重櫓台を、第43次調査は本丸南辺部を調査した。

三ノ丸地区においては、石垣背面構造を調査し、築石の下又は側面に円礫を充填させ、円礫全体で築石を安定化させる構造が顕著で、いわゆる介石を使用する例は僅かであることが判明した。また、栗石は、地点によって、粒径や密度にばらつきが認められた。

本丸地区の調査のうち、南辺部においては、江戸期の絵図等に描かれた石土居の根石を検出した。



第37次補足・40次補足・43次調査区 位置図



第37次補足調査 石垣断面



第43次調査 石土居根石検出状況

## ○公共事業関連

### (1) 下永林遺跡 第10次調査

- |        |                |        |                  |
|--------|----------------|--------|------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市津志田14地割1-1外 | 2 調査原因 | 都南中央第三地区土地区画整理事業 |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面的本調査   | 4 調査期間 | 令和3年4月22日～12月21日 |
| 5 調査面積 | 3,607㎡         | 6 調査員  | 花井 正香・杉山 一樹      |
- 7 検出遺構 縄文時代の陥し穴状土坑3基、奈良・平安時代の円形周溝7基（1基は主体部あり）、古代以降の柱列8列、溝跡13条、近世以降の旧堰跡、時期不詳のピット99口
- 8 出土遺物 縄文土器、奈良・平安時代の土師器・須恵器、炭化物、近世以降の陶磁器、古銭、木製品、土製品（竈道具） コンテナ約7箱
- 9 調査概要 本遺跡は、大道西古墳とも称され、昭和初期に蔵手刀が出土したことで知られている。従前の調査では奈良・平安時代の円形周溝が40基以上確認されている。今次調査では、7基の円形周溝が確認された。このうち1基は、長軸約1.4m・短軸約1.1mの規模の主体部を伴うものである。基底面壁際から木棺の側板痕と思われる溝跡が検出された。



第10次調査区 位置図 (1:5,000)



第10次調査 円形周溝主体部

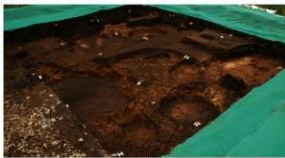
## ○個人住宅建築関連

### (1) 小屋塚遺跡 第45次調査

- |        |              |        |                 |
|--------|--------------|--------|-----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市大新町10-8   | 2 調査原因 | 個人住宅建築          |
| 3 調査方法 | 住宅建築範囲全面的本調査 | 4 調査期間 | 令和3年4月19日～5月31日 |
| 5 調査面積 | 65㎡          | 6 調査員  | 神原 雄一郎・今松 佑太    |
- 7 検出遺構 縄文時代前期の竪穴建物跡3棟、縄文時代中期の土坑（貯蔵穴・粘土採掘坑）10基、縄文時代早期～中期の遺物包含層
- 8 出土遺物 縄文土器、石器 コンテナ約5箱
- 9 調査概要 本遺跡は、雫石川北岸の火山灰砂台地の縁辺部に立地する。この台地上には、大館町遺跡、大新町遺跡等の縄文時代の遺跡が多く所在している。今次調査では、縄文時代前期の竪穴建物跡等が確認された。当該期の竪穴建物跡は、周辺遺跡からは確認されておらず、集落変遷が窺える知見である。



第45次調査区 位置図 (1:2,500)



第45次調査 全景

(2) <sup>さくら</sup>里館遺跡 第68次調査

- |        |   |        |                |
|--------|---|--------|----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市天昌寺町 423-6   | 2 調査原因 | 個人住宅建築         |
| 3 調査方法 | 住宅建築範囲全面的本調査  | 4 調査期間 | 令和3年5月13日～6月9日 |
| 5 調査面積 | 105㎡  | 6 調査員  | 今野 公顕・鈴木 俊輝    |
| 7 検出遺構 | 中世～戦国期の堀跡1条   |        |                |
| 8 出土遺物 | 昭和初期の陶磁器、ガラス瓶 コンテナ約1箱   |        |                |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、雫石川北岸の段丘上に立地している。中世工藤氏の城館跡とされ、これまでの調査で、中世から戦国期の堀跡、掘立柱建物跡、竪穴建物等の遺構が多数確認されている。 |        |                |

今次調査は、遺跡南辺中央部に位置し、堀跡1条を検出した。今次調査地点の北側の第7次調査では、南北に延びる堀跡が検出されており、今次調査結果は、その延長と考えられる。



第68次調査区 位置図 (1:2,500)



第68次調査 全景

(3) <sup>ふたまた</sup>二又遺跡 第16次調査

- |        |   |        |                    |
|--------|---|--------|--------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市下飯岡1地割 56-14の一部  | 2 調査原因 | 個人住宅建築             |
| 3 調査方法 | 住宅建築範囲全面的本調査  | 4 調査期間 | 令和3年10月18日～12月6日   |
| 5 調査面積 | 201㎡  | 6 調査員  | 今野 公顕・杉山一樹・佐々木 あゆみ |
| 7 検出遺構 | 平安時代の竪穴建物跡4棟、土坑1基   |        |                    |
| 8 出土遺物 | 平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器、鉄製品(鉄鍬・刀子)、土製品(土錘・羽口)、鉄滓、砥石 コンテナ約10箱  |        |                    |
| 9 調査概要 | 本遺跡は、雫石川南岸と北上川西岸に形成された低位沖積段丘上に立地する。これまでの調査で、平安時代の竪穴建物跡や掘立柱建物跡が確認されている。今次調査では、竪穴建物跡等の遺構が確認された。確認された竪穴建物跡の中には、カマドや煙道に環等の土器をうつ伏せに重ねて置かれた様相が看取され、いわゆるカマド納めの祭祀が行われていたと推測される。 |        |                    |



第16次調査区 位置図 (1:2,500)



第16次調査 竪穴建物跡

(4) 百目木遺跡 第43次調査

- |        |                    |        |           |
|--------|--------------------|--------|-----------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳5地割40-18~21外 | 2 調査原因 | 個人住宅建築    |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査      | 4 調査期間 | 令和3年10月6日 |
| 5 調査面積 | 20㎡                | 6 調査員  | 鈴木 俊輝     |
- 7 検出遺構 平安時代の竪穴建物跡1棟  
8 出土遺物 奈良・平安時代の土師器・あかやき土器
- 9 調査概要 本遺跡は、北上川西岸に広がる低位沖積段丘上に立地する。従前の調査では、奈良時代の竪穴建物跡が100棟以上確認されている大規模集落である。今次調査では、1辺約5.5mの規模を推測する平安時代の竪穴建物跡1棟を検出した。(盛土工法による現状保存措置)



第43次調査区 位置図 (1:2,500)



第43次調査 竪穴建物跡検出状況

(3) 里館遺跡 第69次調査

- |        |               |        |            |
|--------|---------------|--------|------------|
| 1 調査地  | 盛岡市天昌寺町423-1  | 2 調査原因 | 個人住宅建築     |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査 | 4 調査期間 | 令和3年11月18日 |
| 5 調査面積 | 17㎡           | 6 調査員  | 津嶋 知弘      |
- 7 検出遺構 中世～戦国期の堀跡1条  
8 出土遺物 近世以降の陶磁器片
- 9 調査概要 今次調査区は、遺跡南辺部中央に位置し、第68次調査区の西側に隣接している。調査の結果、堀跡1条が検出された。第68次調査で確認された堀跡の延長と考えられる。(現状保存のうえ対応協議中)



第69次調査区 位置図 (1:2,500)



第69次調査 堀跡検出状況

## ○民間開発関連

### (1) 新茶屋遺跡 第6次調査

- |        |                         |        |                    |
|--------|-------------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地  | 盛岡市山岸六丁目 46-1・10、60-1 2 | 調査原因   | 宅地造成               |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査            | 4 調査期間 | 令和3年6月1日～8月31日     |
| 5 調査面積 | 2,019㎡                  | 6 調査員  | 神原 雄一郎・鈴木 俊輝・今松 佑太 |
- 7 検出遺構 縄文時代前期の竪穴建物跡1棟、縄文時代後期の土坑4基、焼土(灰跡)2基、配石1基、縄文時代早期～後期の遺物包含層
- 8 出土遺物 縄文土器、弥生土器、石器 コンテナ約10箱
- 9 調査概要 本遺跡は、北上山地西縁の小起伏山地に形成された扇状地上に立地する。これまでの調査で、縄文時代早期～前期初頭の土器・石器が確認されている。今次調査では、縄文時代早期中葉の土器群が特徴的で、土器文化の形成が窺える知見である。なお、本調査については別途報告済(『新茶屋遺跡―宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書―』2022年3月)である。



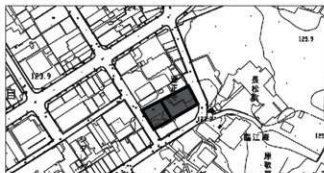
第6次調査区 位置図 (1:5,000)



第6次調査 竪穴建物跡

### (2) 盛岡城遠曲輪跡 第22次・23次調査

- |        |                    |        |                |
|--------|--------------------|--------|----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市南大通二丁目 378-1 外  | 2 調査原因 | 会社事務所及び寺院建設    |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査       | 4 調査期間 | 令和3年6月15日～8月3日 |
| 5 調査面積 | 第22次 135㎡、第23次 55㎡ | 6 調査員  | 津嶋 知弘・鈴木 俊輝    |
- 7 検出遺構 古代の竪穴建物跡1棟、近世の堀跡1条、土塁線、石垣、礎石列
- 8 出土遺物 縄文土器、古代の土器、土製品、鉄製品、近世以降の陶磁器等 コンテナ約5箱
- 9 調査概要 盛岡城は、御城内と呼ばれた内曲輪を中心に、外側を堀と土塁で区画された外曲輪が囲み、さらに外側を遠曲輪が囲む梯郭式の城郭である。今次調査区は、遠曲輪南東辺南端が南辺へ屈曲する地点にあたる。調査の結果、遠曲輪堀跡と土塁線・石垣等の遺構が確認された。なお、本調査については別途報告済(『盛岡城遠曲輪跡―第22次・23次調査 会社事務所建設・寺院建設に伴う緊急発掘調査報告書―』2022年12月)である。



第22次・23次調査区 位置図 (1:2,500)

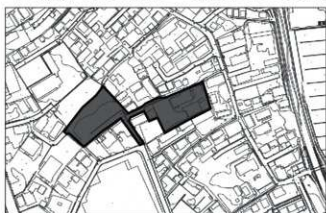


第22次調査 全景

(5) 百目木遺跡 第42次調査

- |        |                                   |        |                 |
|--------|-----------------------------------|--------|-----------------|
| 1 調査地  | 盛岡市三本柳5地割14-1外                    | 2 調査原因 | 宅地造成            |
| 3 調査方法 | 調査対象区域全面の本調査                      | 4 調査期間 | 令和3年6月23日～8月24日 |
| 5 調査面積 | 1,502㎡                            | 6 調査員  | 菊地 幸裕・浜谷 佑      |
| 7 検出遺構 | 奈良・平安時代の竪穴建物跡3棟、竪穴状遺構1基、土坑3基、溝跡1条 |        |                 |
| 8 出土遺物 | 奈良・平安時代の土師器・須恵器・あかやき土器            |        | コンテナ約4箱         |

9 調査概要 今次調査区は、竪穴建物跡80棟以上が検出された第1次調査区の北東に位置する。調査の結果、奈良時代の竪穴建物跡2棟、平安時代の竪穴建物跡1棟等の遺構と、当該期の土器が確認された。特徴的な遺物として、「六」が記された墨書土器が出土している。なお、本調査については別途報告済(『百目木遺跡-第42次調査 宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書-』2022年3月)である。



第42次調査区 位置図 (1:5,000)



第42次調査 竪穴建物跡

(6) 盛岡城跡 第42次調査

- |        |                   |        |           |
|--------|-------------------|--------|-----------|
| 1 調査地  | 盛岡市内丸354-1、355-5  | 2 調査原因 | 教会建築      |
| 3 調査方法 | トレンチによる遺構確認調査     | 4 調査期間 | 令和3年6月23日 |
| 5 調査面積 | 102㎡              | 6 調査員  | 今野 公顕     |
| 7 検出遺構 | 近世の堀跡             |        |           |
| 8 出土遺物 | 近世以降の陶磁器、煉瓦、スレート瓦 |        |           |

9 調査概要 今次調査区は、盛岡城内曲輪の南辺部で、史跡指定範囲の南側近接地である。調査の結果、内曲輪の堀跡が確認された。また、教会で使用されたと考えられるスレート瓦や煉瓦片が確認され、教会建築当初の様相が垣間見れた。(工法変更による現状保存措置)



第42次調査区 位置図 (1:2,500)



第42次調査 堀跡検出状況

## 4 志波城跡 第113次調査

### 1 遺跡の環境

#### (1) 遺跡の概要(第1図)

志波城跡は、盛岡市の南西部の下太田方八丁地内他に所在する。総面積は約75万㎡である。遺跡は北上川と雫石川の合流点付近から南西約4kmの両河川が形成した低位沖積段丘上に位置する。この段丘は水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層が乗り、表土が覆う。

志波城跡は、かつて字名から「太田方八丁遺跡」と呼ばれた。岩手県教育委員会による1976・77年度の東北縦貫自動車道建設に伴う発掘調査で、築地塙跡・大溝跡・竪穴建物跡などが検出され、所在地が不明だった志波城跡だと注目を集めた。その後、盛岡市教育委員会が範囲確認調査を行い、1984年に志波城跡として約63.6万㎡が国史跡指定を受けた。

盛岡市教育委員会は継続して調査を行い、1986年度から重要地区の用地公有化、1993年度から保存整備を実施し、1997年に外郭南辺部を志波城古代公園として公開した。これらの事業は、2018年度まで継続し政庁・官衙域、外郭東西辺、ガイダンス施設などを整備した。



第1図 志波城跡 全体図



志波城は、平安時代初頭の延暦22(西暦803)年に、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂によって造営された「城柵」である(『日本紀略』)。城柵とは、奈良～平安時代に、政府が作った東北地方経営のために20数ヶ所造営した軍事と行政の行政府で、蝦夷に対する饗給・斥候・征討の役割を担った。しかし、洪水被害と桓武天皇の徳政相論の結果を受け、文室綿麻呂によって、弘仁2(811)年頃までに新たに徳丹城(矢中町西徳田)を造営し、機能移転された(『日本後紀』)。

これまでの調査成果から構造の概略は次とおりである。外郭は、一辺約930mの土塁を伴う外大溝と、一辺約840mの築地塼で方形に二重に区画した。東辺と南辺には、築地塼から1町(約108m)外側に大溝(通称「一町溝」)が平行し、三重に区画した。北辺は洪水により削られ残存せず、旧河道と比高1～2m程の段差が残る。郭内中心やや南寄りに一辺150m四方を築地塼で区画し正殿・東西脇殿などを配置する政庁、その周囲に実務官衙域、外郭築地内側約一町幅で兵舎や工房の竪穴建物が1100～1200棟ほど配置された。外郭規模は陸奥国府多賀城に匹敵し、政庁規模は多賀城の倍の面積であり城柵最大規模である。主要建物は掘立柱建物で、瓦は葺かれていない。多数の竪穴建物を郭内に内包する点は大きな特徴で、多くは鎮兵兵舎と考えられる。

## 2 調査内容

### (1) これまでの調査(第1図)

志波城跡の発掘調査は1976年度の第1次調査から2017年度まで、個人住宅建設などの史跡現状変更及び保存整備事業に伴う内容確認調査を、のべ112次、170,484㎡を調査した。遺跡総面積約75万㎡(史跡指定地外含む)のうち22.73%にあたる。

今次調査区南側の第104次調査(2010年度)では、約15.5mに渡る外郭西辺築地塼(SF170)と外溝跡(SD170)、内溝跡(SD175)を検出し、保存整備を行った。北側の第24次調査では外郭西辺築地塼は確認されなかったが、外溝跡(SD170)、内溝跡(SD175)を検出した。

### (2) 第113次調査(第2図)

第113次調査は、盛岡市上下水道局による水道管敷設工事に伴い、史跡現状変更と周知の埋蔵文化財包蔵地における、記録保存のための緊急発掘調査として実施した。

調査は、掘削工事に立会い、遺構検出時に本調査を実施した。掘削は現道路面から約110cm下までであった。層序は、上から現道路面から約40cmの路盤、盛土や旧表土(Ia層)、調査範囲南半は黒色土～暗褐色土(II層)、褐色シルト(III層)、基底砂礫層(IV層)、同北半は旧表土直下にシルト層(III層)、北辺は表土直下に砂礫層(IV層)の堆積を確認した。遺構検出はIa層直下II・III層上面で行った。工事範囲が幅60cmと狭小なため、調査は遺構の断面観察を主とした。

遺構は、調査範囲の南端付近で志波城跡外郭西辺築地塼関連遺構を検出した。調査範囲北辺部の史跡指定範囲とその西側に連続する小沼遺跡は、遺構が確認されなかった。北西端から約5mの路盤や盛土直下は北側の旧河道堆積土、それ以东はIV層だった。大半は既設下水管による擾乱を受けていた。よって、西辺外大溝跡の延長線上では、遺構が確認できなかった。

調査概要は次のとおりである。

- ①遺跡名 志波城跡 (LE15-2317・OSW113) ②調査地点 盛岡市中太田小沼・吉原地内  
 ③調査期間 令和4年1月11日～3月4日 ④調査方法 工事立会・遺構確認時発掘調査  
 ⑤調査原因 水道管敷設工事に伴う史跡現状変更と埋蔵文化財包蔵地の緊急発掘調査。  
 ⑥調査面積 165.1㎡  
 ⑦検出遺構 外郭西辺築地塼 (SF170) 基礎地業跡、築地塼外溝跡 (SD170)、同内溝跡 (SD175)  
 江戸時代以降 土坑墓4基  
 ⑧出土遺物 平安時代 須恵器破片、近世以降 陶磁器片、人骨  
 ⑨調査員 今野 公顕・今松 佑太・杉山 一樹

### (3) 調査成果 (第2・3図、写真)

#### ①外郭西辺築地塼 (SF170) 地業 (第3図)

調査範囲南辺部に人為堆積土を検出した。Ⅱ層暗褐色土層上面に、地山褐色シルトと黒褐色土の固く締まった混合土 (A層) を検出した。その両側に、ややもろい黒褐色土と褐色シルトの粗い混同土を確認した (B層)。層状の版築は確認できないため、築地版築下面に施された基礎地業跡と推察した。広がり把握できず詳細は不明である。

#### ②外郭西辺築地外溝跡 (SD170) (第3図)

調査範囲南西端にて黒褐色土の堆積を検出した。位置関係や埋土様相から、外郭西辺築地外溝跡と考えられる。

#### ③外郭西辺築地内溝跡 (SD175)

##### (第3図)

調査範囲南東端から北へ約17mの範囲において、黒褐色土に褐色土塊を含む堆積土を検出した。位置関係や埋土様相から、外郭西辺築地内溝跡と考えられる。検出面から須恵器裏破片が1点出土した。

#### ④土坑墓 (第2図・写真)

調査範囲北部で土坑墓4基を検出した。重複と掘込面の違いから、大きく2時期の埋葬を確認した。一部に頭蓋骨や歯が残存した。I a層及びその直下から掘込まれていることや埋土様相から、近世以降のものと考えられる。



第2図 第113次調査全体図

#### (4) 調査のまとめ

本次調査では、104次調査区から連続する志波城跡北西部の外郭西辺部の様相の一端が明らかになった。調査範囲が狭く詳細は不明だが、今後周辺の調査で外郭西門や櫓などの志波城外郭西辺施設が明らかになることが期待される。また、調査範囲北部において近世のものと考えられる土坑墓4基が見つかった。現在は道路地内であり詳細は不明だが、近世の古地図には道沿いに家と農地のみが描かれていることから、屋敷墓と考えられる。(今野公顕)

#### 【参考文献】

盛岡市教育委員会 1982 『志波城跡—昭和56年度発掘調査概報—』

盛岡市教育委員会 2011 『志波城跡—平成20・21・22年度発掘調査概報—』

盛岡市教育委員会 2000 『志波城跡—第1期保存整備事業報告書—』

盛岡市教育委員会 2017 『志波城跡—第Ⅱ・Ⅲ期保存整備事業報告書—』

岩手県立図書館 所蔵 『岩手郡中太田村絵図(慶応元年)』 ほか



調査区西端 SD170 検出状況



調査区南端 SF170 地業 検出状況



調査区南東端 SD175 検出状況



調査区北方 SD170 検出状況

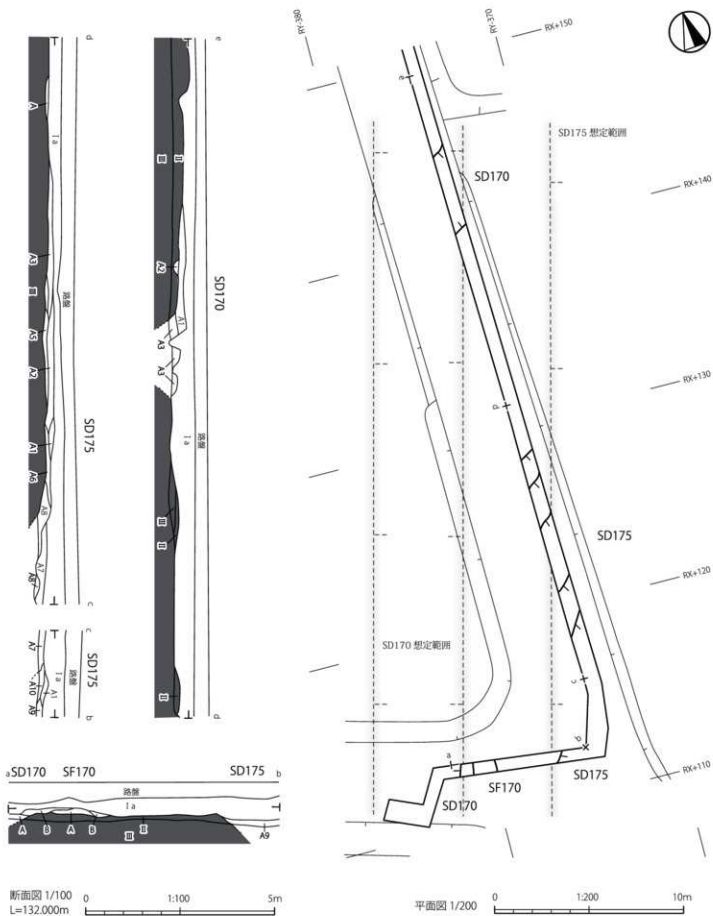


近世土坑墓

SD175 検出面出土 須恵器壺



調査風景



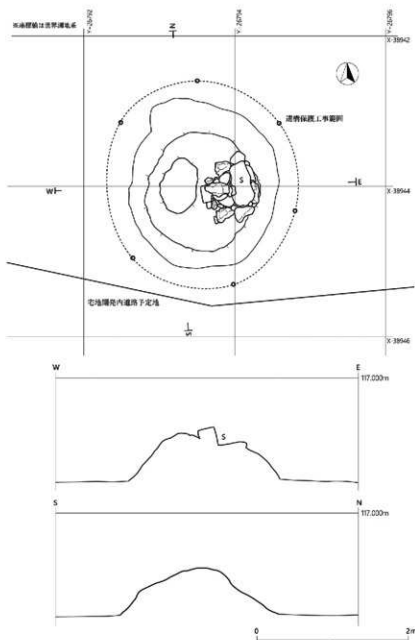
第3図 志波城跡第113次調査 平面図・断面図

## 5 神田塚遺跡

- 1 調査地 盛岡市永井 19 地割 36 番 3
- 2 調査原因 耕作土盛土
- 3 調査方法 現況測量調査
- 4 調査期間 令和 3 年 10 月 27 日
- 5 調査面積 4.6㎡
- 6 調査員 津嶋知弘
- 7 検出遺構 近世の塚 1 基
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 本遺跡は、JR 東北本線岩手飯岡駅から約 0.6km 南に位置し、低位砂礫段丘に立地している。現況は、水田耕作地の中に独立して 1 基マウンドが存在する塚である。南隣接地が宅地開発で嵩上げされるのに合わせて行われる耕作土盛土工事について事前協議があり、遺跡である塚の範囲を砂で保護盛土して保存することで合意されたため、発掘届の提出を受けて工事施工前の塚の現況測量を行った。塚は、平面がほぼ円形で、南北 2.1 m・東西 2.0 m、周囲の水田面からの高さが 0.6 m を測る。頂部東側に集石があり、その上に扁平立方体の小石碑（銘「金氏」）が東向きに立つ。遺物の散布はなかった。地権者家族より、先祖の墓として毎年 8 月 13 日に拝んでいるが詳細はわからない、との証言があった。令和 4 年 4 月に保護盛土工、5 月に修景工で塚の復元と集石・小石碑の再設置が行われた。



神田塚遺跡 位置図 (1 : 2,500)



神田塚遺跡現況測量図

なお、当該塚が地権者の認識どおり墳墓とすれば、小石碑は墓石の可能性があり、銘の「金氏（かねうじ、かねうじ）」は被葬者の氏族名（姓）、または名前（名）であろう。簡易的にインターネットで検索すると、現在日本に「金氏」姓は約 260 人存在し、長崎県佐世保市に多く、鳥根県仁多郡奥出雲町などにもみられる、という情報が出てくる。鳥根県がルーツとされ、語源は金の出る土地に由来するという。徳島県には地名（三好市池田町佐野金氏）がある。当該遺跡の地権者姓が「兼平（かねひら、元は「金平」か）」で代々大地主の家柄であり、また土地の字名が「神田（かんだ、元は「金田」か）」と、ともに「金氏」の「金（かね、かな）」に類する音が含まれることが注目される。一方、下の名前が「金氏」なる人物の情報は得られず、現状では「金氏」は氏族名（姓）である蓋然性が高い。



塚全景（東から）



塚全景（南から）



小石碑側面



小石碑正面 銘「金氏」



頂部東側集石（上から）



保護盛土工



修景工（塚復元、集石再設置）

神田塚遺跡

# 報告書抄録

ふりがな	もりおかしせいせきのまなびかん れいりわさんねんど かんぼう							
書名	盛岡市遺跡の学び館 令和3年度 館報							
編集者名	大森 勉・菊地 幸裕・津嶋知弘・神原 雄一郎・今野 公顕・鈴木 俊輝・今松 佐太・杉山 一樹							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2023年3月28日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
盛岡城跡 (第37補・40補・43次)	岩手県盛岡市内丸57-1 地内	03201	LE16-0355	39°42'01"	141°09'00"	20210817 ～1209	382	保存整備事業に伴う 事前調査
下水林道跡 (第10次)	岩手県盛岡市津志田14 地割1-1号		LE27-2054	39°39'16"	141°09'43"	20210422 ～1221	3,607	土地区画整理事業
小屋塚道跡 (第45次)	岩手県盛岡市大新町10-8		LE06-1098	39°42'53"	141°07'07"	20210419 ～0531	65	個人住宅建築
里館道跡 (第68次)	岩手県盛岡市大森寺町 423-6		LE06-2027	39°42'43"	141°07'15"	20210513 ～0609	105	個人住宅建築
二又道跡 (第16次)	岩手県盛岡市下飯岡1地 別56-14の一部		LE26-0024	39°40'30"	141°06'52"	20211018 ～1206	201	個人住宅建築
百目木道跡 (第43次)	岩手県盛岡市三本柳5地 別40-18外		LE27-1096	39°39'37"	141°09'46"	20211006	20	個人住宅建築
里館道跡 (第69次)	岩手県盛岡市大森寺町 423-1		LE06-2027	39°42'43"	141°07'15"	20211118	17	個人住宅建築
新茶屋道跡 (第6次)	岩手県盛岡市山岸六丁目 46-1外		LE07-0143	39°43'39"	141°10'19"	20210601 ～0831	2,019	宅地造成
盛岡城遠曲輪跡 (第22・23次)	岩手県盛岡市南大通二 丁目378-1外		LE06-2389	39°42'14"	141°09'08"	20210615 ～0803	190	会社事務所及び寺院 建設
百目木道跡 (第42次)	岩手県盛岡市三本柳5地 別14-1外		LE27-1096	39°39'37"	141°09'46"	20210623 ～0824	1,502	宅地造成
盛岡城跡 (第42次)	岩手県盛岡市内丸354-1 外		LE16-0355	39°42'01"	141°09'00"	20210623	102	教会建築
志波城跡 (第113次)	岩手県盛岡市中太田小沼・吉原 地内		LE15-2317	39°41'12"	141°06'34"	20220111 ～0304	165	水道管敷設工事
神田塚道跡	岩手県盛岡市永井19地 別36-3		LE36-0310	39°38'55"	141°08'43"	20211027	4.6	耕作土盛上
所収遺跡名	種別		主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
盛岡城跡 (第37補・40補・43次)	城跡跡	近世	三ノ丸上層控柱跡 本丸南辺土上層根石		瓦、陶磁器、鉄製品、鉄滓、古銭、 動物遺存体 コンテナ約22箱		三ノ丸上層の控柱跡を確認 本丸南辺土上層の根石を確認	
下水林道跡 (第10次)	散布地	縄文・古代	陥し穴状土坑3基 円形埋溝7基、溝跡13条、柱列8列		土師器・須恵器、近世陶磁器、 古銭、木製品 コンテナ約7箱		主体部を伴う円形埋溝を確認	
小屋塚道跡 (第45次)	集落跡	縄文	竪穴建物跡3棟、土坑10基、遺物包含層		縄文土器、石器 コンテナ約5箱		縄文時代前期の竪穴建物跡、中 期の粘土投網坑を確認	
里館道跡 (第68次)	城跡跡	中世	堀跡1条		現代陶磁器・ガラス類 コンテナ約1箱			
二又道跡 (第16次)	集落跡	平安	竪穴建物跡4棟、土坑1基		土師器・須恵器・あかやき土器、 鉄製品 コンテナ約10箱		カマド・煙道から出土したばかり カマド納めが行われたと推測	
百目木道跡 (第43次)	集落跡	平安	竪穴建物跡1棟		土師器・あかやき土器			
里館道跡 (第69次)	城跡跡	中世	堀跡1条		近世陶磁器片			
新茶屋道跡 (第6次)	散布地	縄文	竪穴建物跡1棟、土坑4基、焼土2基、 配石1基、遺物包含層		縄文土器、石器、弥生土器 コンテナ約10箱		縄文時代前期の竪穴建物跡を確認	
盛岡城遠曲輪跡 (第22・23次)	城跡跡	平安 近世	竪穴建物跡1棟 堀跡1条、土塁線、石垣、礎石列		土器、土製品、鉄製品、陶磁器 コンテナ約5箱		盛岡城遠曲輪の城跡の南東辺南 端部を確認	
百目木道跡 (第42次)	集落跡	奈良・平安	竪穴建物跡3棟、竪穴状遺構1基、土坑 3基、溝跡1条		土師器・須恵器・あかやき土器 コンテナ約4箱		壺蓋土器「六」が出土	
盛岡城跡 (第42次)	城跡跡	近世	堀跡1条		陶磁器、煉瓦			
志波城跡 (第113次)	城跡跡	平安	外郭西辺築地塼基礎地業跡、築地塼外溝跡、 内溝跡		須恵器片			
神田塚道跡	祭祀	近世	塚1基					





---

### 盛岡市遺跡の学び館 令和3年度館報

令和5年3月28日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1  
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605  
e-mail [iseki@city.morioka.iwate.jp](mailto:iseki@city.morioka.iwate.jp)  
URL <https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html>

印刷 河北印刷株式会社  
〒020-0015 岩手県盛岡市本町通2丁目8番7号  
電話 019-623-4256 FAX 019-623-0976

---



盛岡市 遺跡の<sup>®</sup>学び館